

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	札幌市立平和通小学校 【日時】 平成 29 年 12 月 6 日（水） 【対象】 6 年生 児童 64 名
3 展開の形式	（１）学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （２）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 （ねらい）	憧れる人について考えたり、職業を調べたりする活動を通して、自分の将来や生き方を見つめ直すことができる。
5 取組内容	バレーボールの基礎練習と試合形式の練習及び、「自分の夢をかなえるために」という観点での講演。 1 自分の夢を実現した人「成田郁久美さん」を紹介。 2 バレーボール練習。 3 成田さんによる講演。 ・自己の紹介（経歴、競技種目を映像で） ・いつ、夢をもち始めたのか。 ・夢に向かってどんな努力を積み重ねてきたのか。 ・辛いことをどう乗り越えてきたのか。など 4 講演の感想発表、質疑応答 ○指導計画 総合的な学習の時間 25 時間扱い ・もうすぐ卒業！将来どんなふうになるのかな？（8時間） ・将来の夢を考えよう（5時間） 夢をかなえた人にお話を聞いてみよう ・ドリームプランを考えよう（12 時間）

	   
6 主な成果	・バレーボールのグループ練習を通し、仲間と協力することの大切さを学ぶことができた。 ・夢の実現に向けて日々をどのように過ごすかという話から、「自分も同じように過ごし、実現していきたい」と考えることができた。 ・オリンピックにおけるバレーボールの話を聞くことで、子どもたちのスポーツに対する見方が広がった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	成田さんの取組や夢に対する姿勢と自分のこれまでとこれからを結び付けて考えることが難しい児童もいたので、オリンピックという規模の大きさの方に注目しがちではあるが、精神論としてどういう姿勢が大切か、ということに気付かせる時間を、この次の時間以降に取り入れるなど、事後学習を行うべきだった。
9来年度以降 の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。